

D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社（証券コード：6534）

2018年3月期第3四半期 決算説明会

2018年2月2日

▼ D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.dac-holdings.co.jp/>

▼ IRニューズメール配信登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>

- **2018年3月期第3四半期 決算概要**
- **広告事業の動向**
- **今期方針／トピックス**

<会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※ 当社の設立は2016年10月ですが、2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績（アイレップ連結を含む）で集計しております。

決算概要

2018年3月期第3四半期決算のポイント

- **3Q累計売上高は1,485億66百万円、営業利益は61億97百万円とそれぞれ2ケタの増収増益を達成し、過去最高額を更新**
(3Q累計 売上高前年比 **18.3%増**、営業利益前年比 **40.2%増**)
- **インターネット関連事業は、DACグループ・アイレップグループ共に好調で、3Q累計売上高は前年比 18.6%増、売上総利益は前年比 18.0%増**
- **5月開示の業績予想に対し、引き続き順調に進捗**

※ 2017年3月期3Q実績において、2017年3月期末に行った一部取引の会計方針変更を遡及適用したため、昨年度に発表した3Q実績数値との相違が生じております。通期累計実績に変更はありません。

連結決算ハイライト

- 継続して2ケタの増収増益を達成。営業利益は四半期で過去最高額
- 販管費の増加を上回る売上総利益を創出し、OM率は累計で5.3pt向上

(百万円)

	2018年3月期 3Q			
	四半期 (2017/10~2017/12)		累計 (2017/4~2017/12)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	55,141	117.0%	148,566	118.3%
売上総利益	7,585	108.4%	20,339	116.0%
営業利益	2,667	112.9%	6,197	140.2%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,352	104.0%	3,296	172.4%
EBITDA	2,990	112.8%	7,128	137.7%
OM率 ※	35.2%	+1.4pt	30.5%	+5.3pt

※ オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

通期業績予想の進捗率

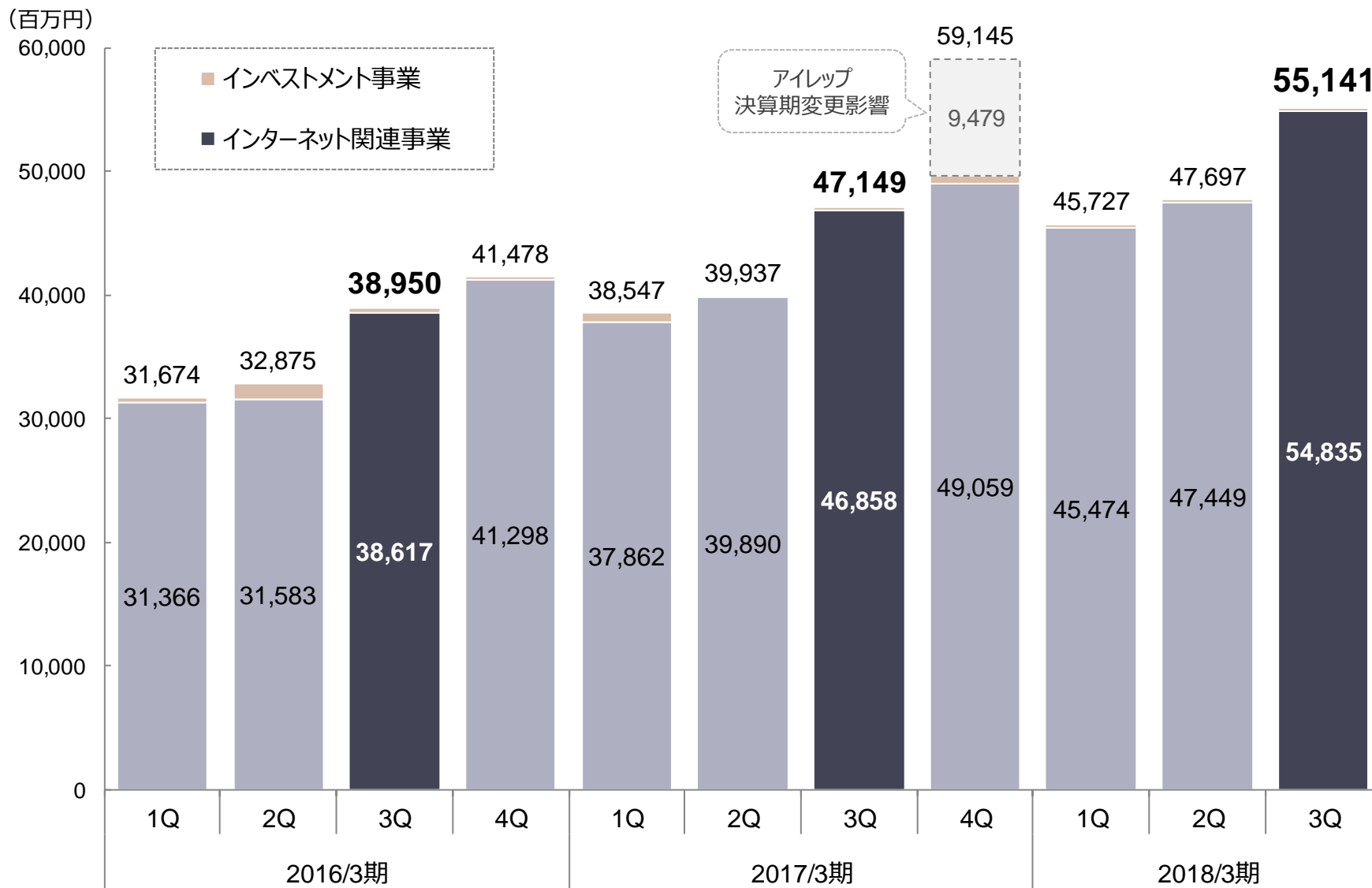
- 5月開示の通期業績予想に対し、各項目で順調に推移

(百万円)

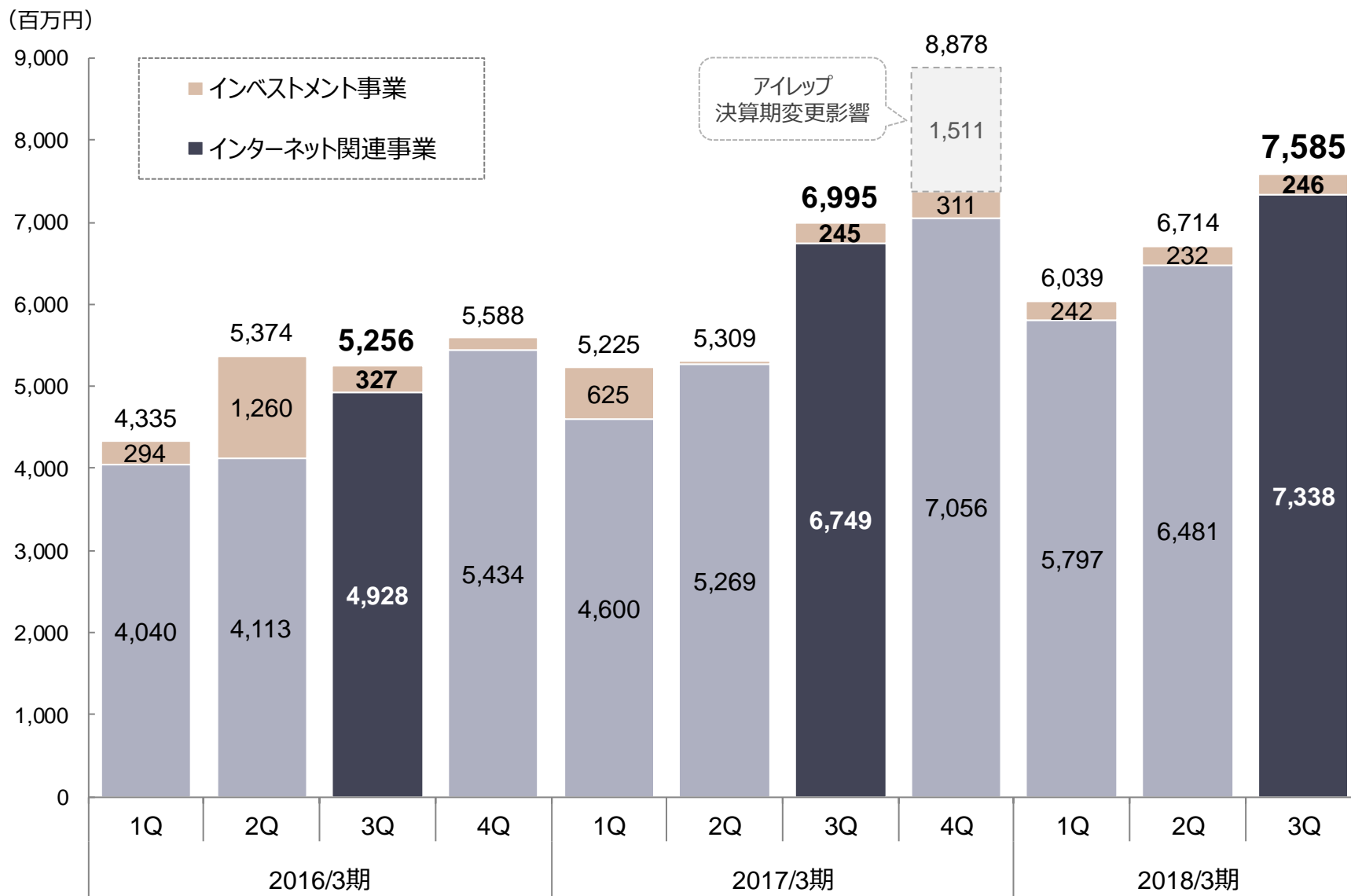
	2018年3月期 (2017/4~2018/3)		
	通期業績予想 (2017/5/11公表)	3Q累計実績 (2017/4~2017/12)	進捗率
売上高	205,000	148,566	72.5%
営業利益	7,200	6,197	86.1%
経常利益	7,200	6,129	85.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	3,296	86.8%
1株当たり 当期純利益※	65.08円	—	—

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定しております。

売上高の推移



売上総利益の推移



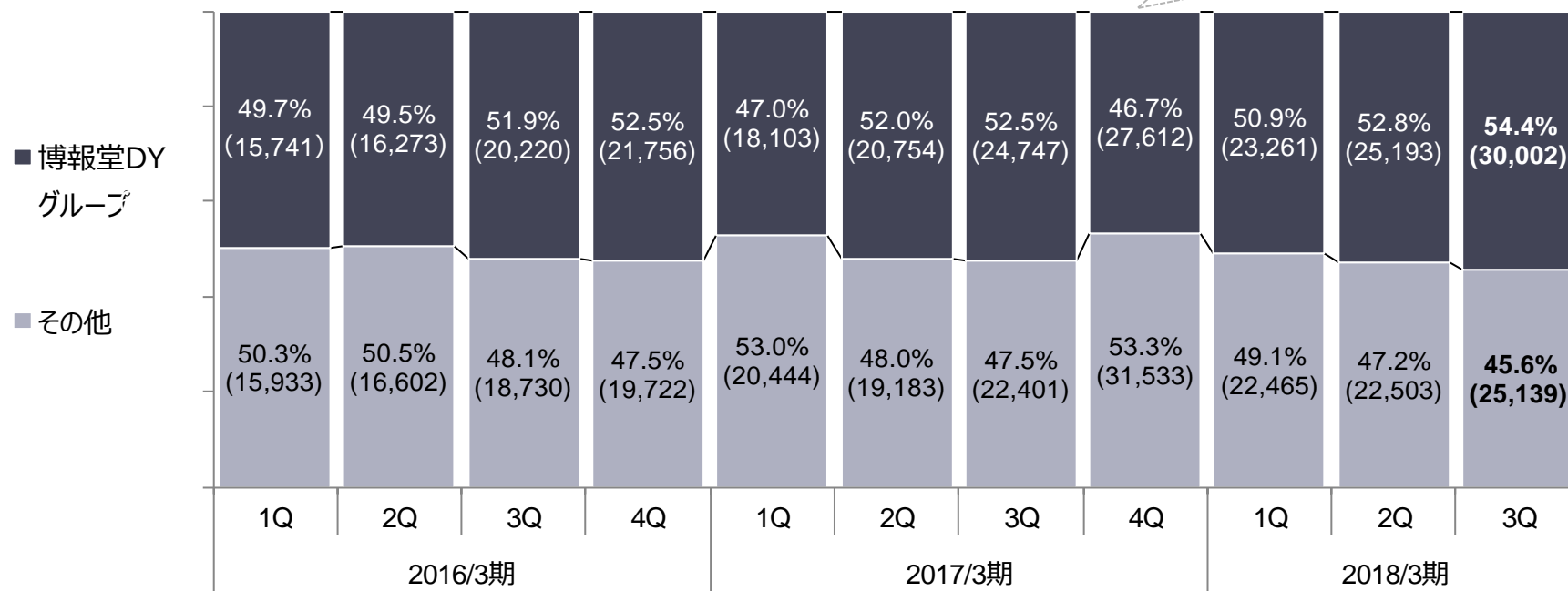
博報堂D Yグループ向け売上高

(百万円)

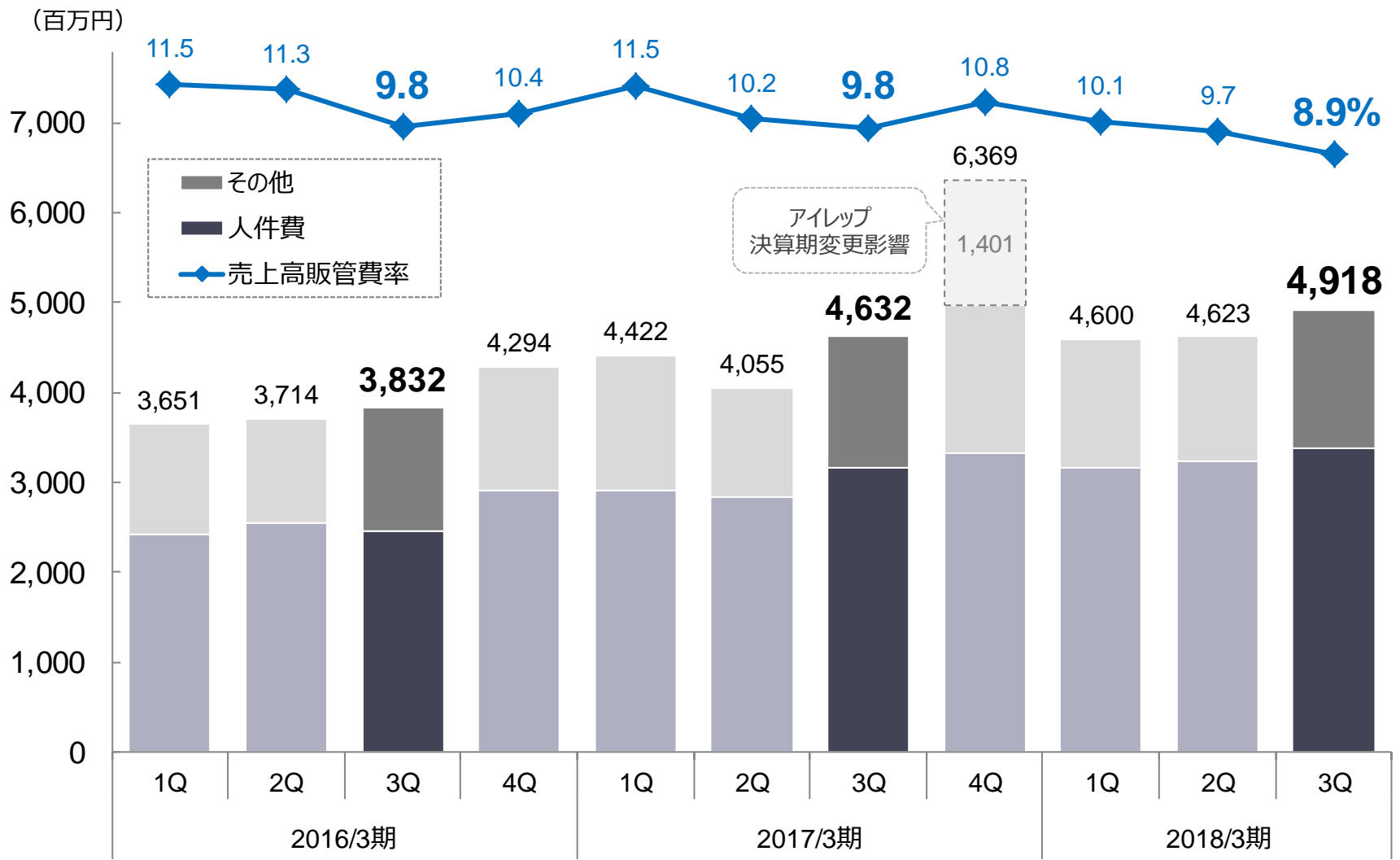
	2017年3月期 3Q累計 (2016/4~2016/12)		2018年3月期 3Q累計 (2017/4~2017/12)		
	売上	百分比	売上	百分比	前年同期比
博報堂D Yグループ	63,604	50.6%	78,457	52.8%	123.4%
その他	62,029	49.4%	70,108	47.2%	113.0%
合計	125,634	100.0%	148,566	100.0%	118.3%

<四半期推移>

アイレップ決算期変更影響あり

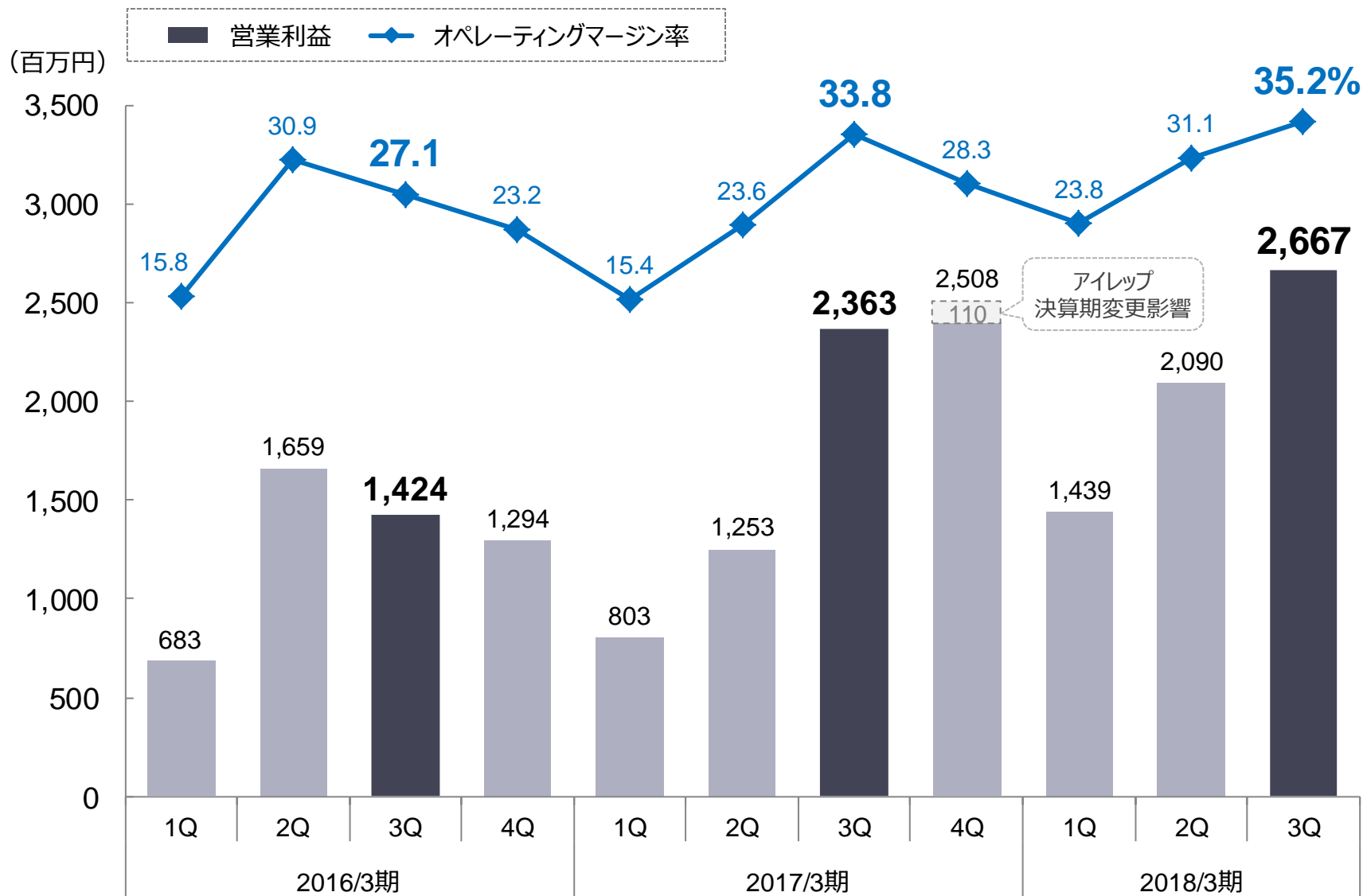


販管費の推移

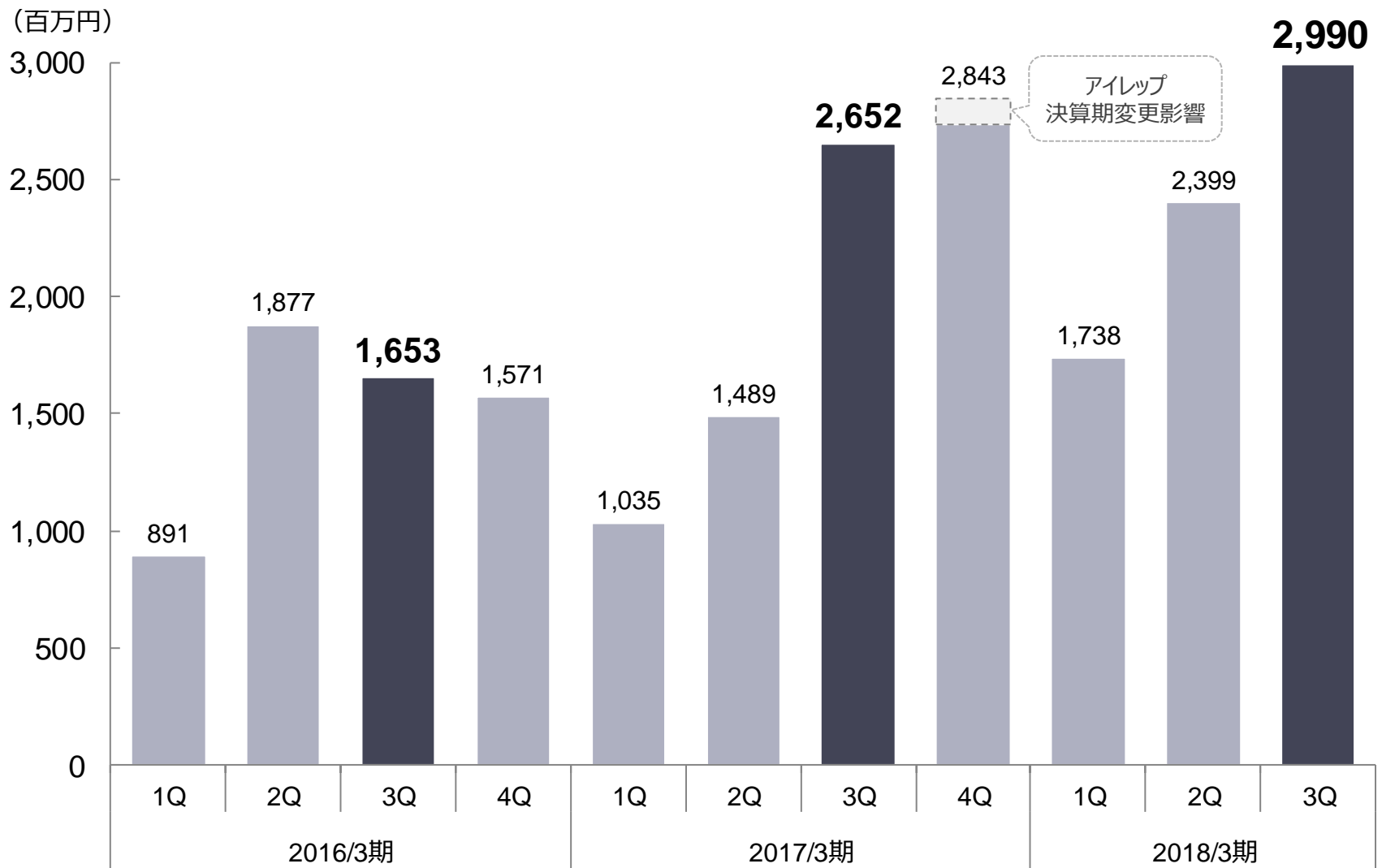


役職員数 2,381名 → 2,896名
 (取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数)

営業利益の推移



EBITDAの推移




























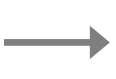







※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

貸借対照表

(百万円)

	2017年3月期末 (2017/3末)		2018年3月期3Q末 (2017/12末)			
	金額	構成比	金額	構成比	前年期末比	主な増加/減少要因
流動資産	46,504	83.4%	49,442	82.6%	106.3%	現金及び預金の増加
固定資産	9,263	16.6%	10,382	17.4%	112.1%	差入保証金の増加
資産合計	55,768	100.0%	59,824	100.0%	107.3%	
流動負債	28,609	51.3%	30,186	50.5%	105.5%	買掛金の増加
固定負債	1,625	2.9%	1,380	2.3%	85.0%	長期借入金の減少
負債合計	30,234	54.2%	31,567	52.8%	104.4%	
株主資本	16,229	29.1%	18,682	31.2%	115.1%	利益剰余金の増加
非支配株主持分	7,492	13.4%	7,817	13.1%	104.3%	
その他	1,812	3.2%	1,757	2.9%	97.0%	
純資産合計	25,533	45.8%	28,257	47.2%	110.7%	
負債・純資産合計	55,768	100.0%	59,824	100.0%	107.3%	

主なグループ会社の動向

			2018年3月期 3Q累計 ※1	
			売上高	営業利益
DAC グループ	 D.A.C Consortium	DAC		
	 UNITED	ユナイテッド		
	 HAKUHODO i-studio	博報堂アイ・スタジオ		
	 P1 PLATFORM ONE	プラットフォーム・ワン		
	 TORCHLIGHT	トーチライト		
	 D.A.C Beijing	北京DAC		
	 D.A.C Asia	DAC ASIA		
アイレップ グループ	 irep	アイレップ		
	 LOCALIO	ロカリオ		
	 DIGITAL MARKETING Indonesia	DIGITAL MARKETING INDONESIA		
	 DIGITAL MARKETING Vietnam	DIGITAL MARKETING VIET NAM ※2		

※1 矢印は前年同月実績との比較です。

※2 旧社名：MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION

広告事業の動向

D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium **holdings**

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

- 子会社等の経営管理
- テクノロジー & データ戦略
- R&D
- グローバル戦略

パートナービジネス

<DACグループ>



■ メディアサービス

- ・メディアレップ事業
- ・広告プラットフォーム事業
- ・オペレーション事業

■ ソリューションサービス

- ・制作事業
- ・スマホコンテンツ事業
- ・テクノロジー開発事業

クライアントビジネス

<アイレップグループ>



- ・広告代理事業
- ・ソリューション事業
- ・ツール事業
- ・デジタルメディア事業 他

インベストメント事業



インターネット関連事業

事業領域別の状況

(百万円)

	2018年3月期 3Q累計 (2017/4~2017/12)				
	売上	売上総利益	粗利率	前年同期比	
				売上	売上総利益
インターネット関連事業	147,759	19,617	13.3%	118.6%	118.0%
パートナービジネス	115,346	15,732	13.6%	121.2%	132.1%
メディアサービス	103,524	10,416	10.1%	122.5%	130.0%
ソリューションサービス	11,822	5,316	45.0%	110.9%	136.5%
クライアントビジネス	32,413	3,885	12.0%	110.0%	97.9%
インベストメント事業	806	722	89.5%	78.8%	79.3%
合計	148,566	20,339	13.7%	118.3%	116.0%

※ クライアントビジネスの前年同期比は、前年度のイレップ決算期変更の影響により、2017年1-9月との比較をしております。

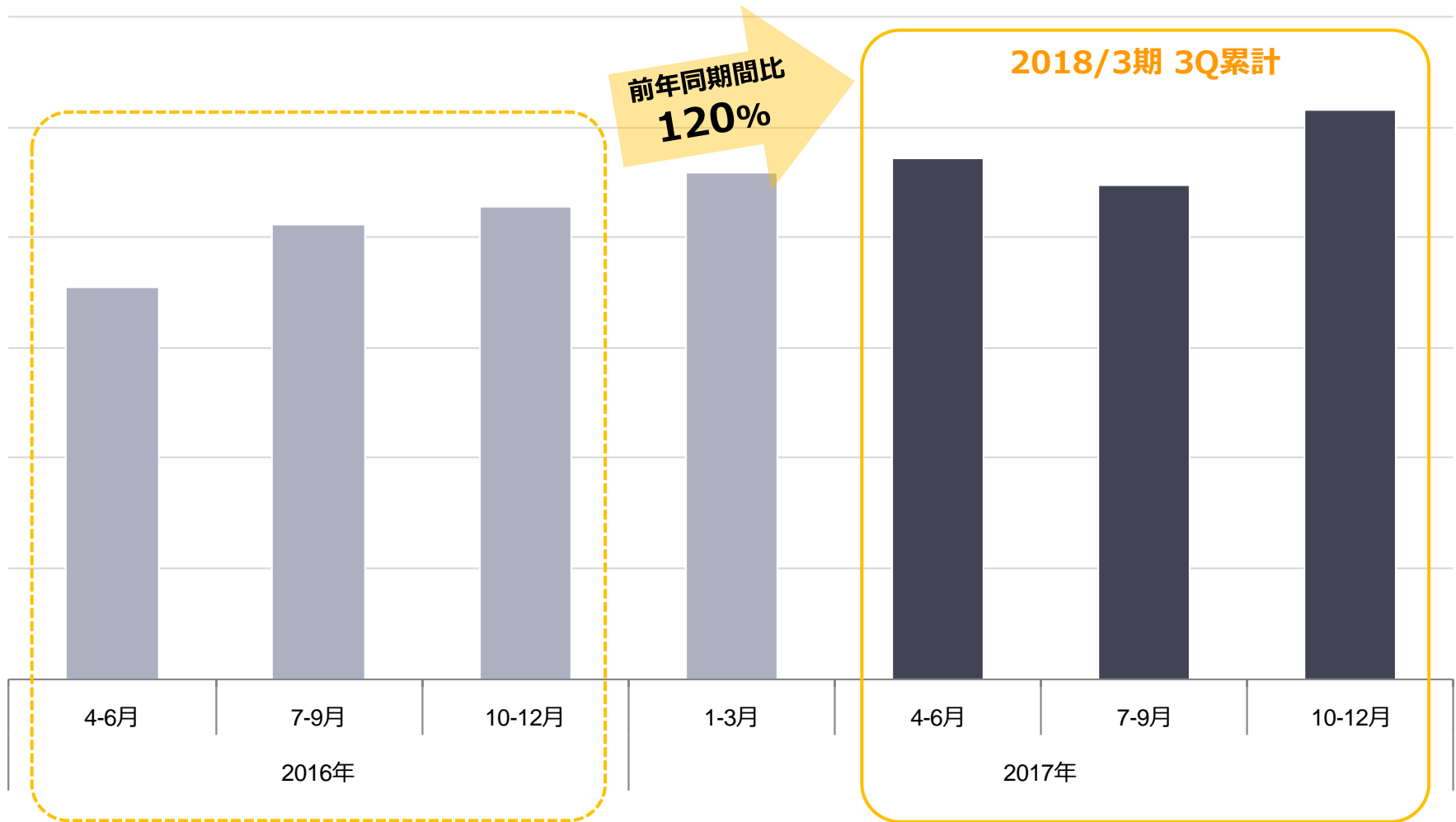
※ クライアントビジネスの実績において、経営統合によるビジネス間の調整を行っております。

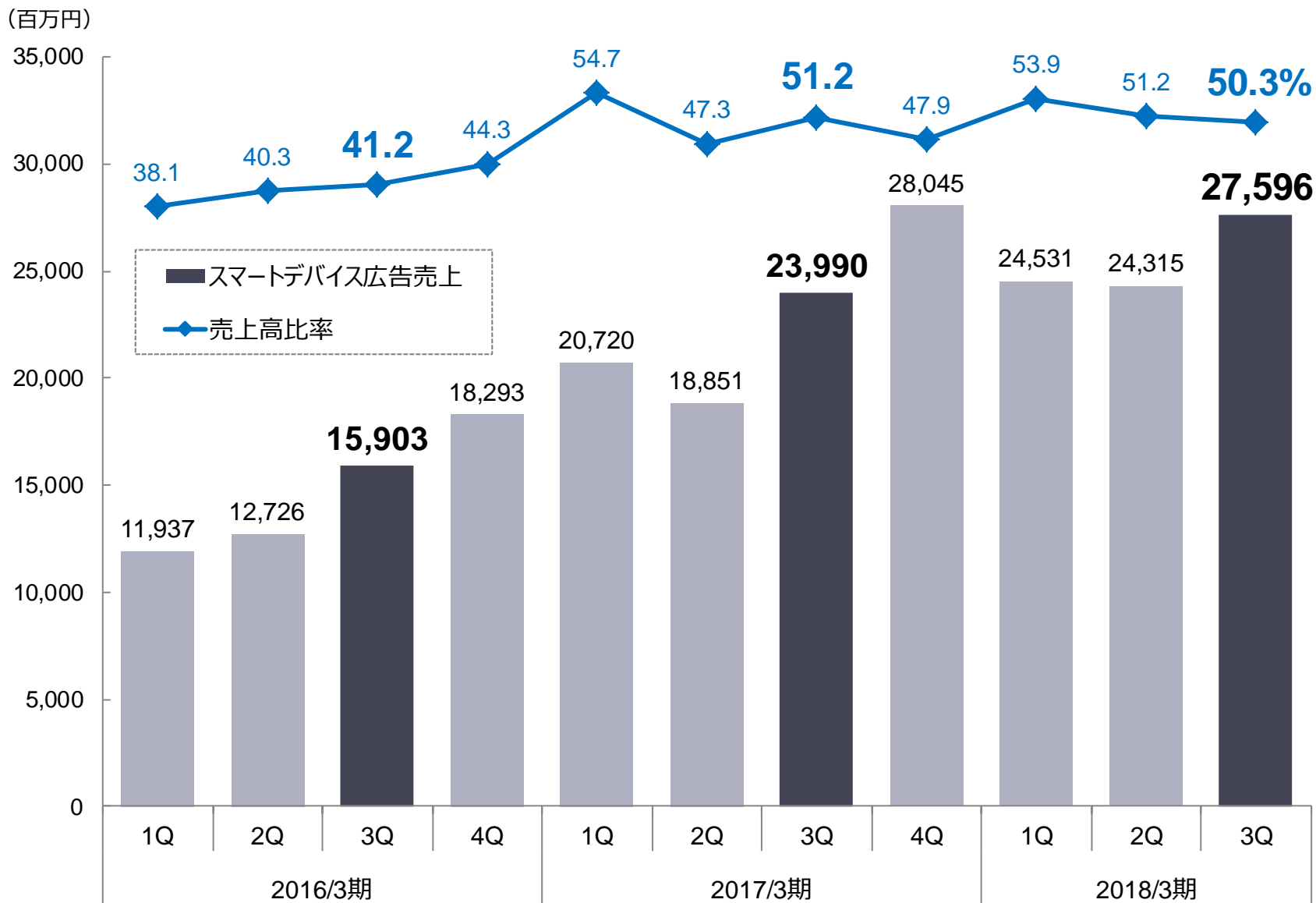
(参考) 各事業領域の内容

インターネット関連事業	インターネット広告に関する事業
パートナービジネス	パートナー（広告会社・媒体社）向けサービス
メディアサービス	メディアレップ事業、広告プラットフォーム事業、オペレーション事業 など
ソリューションサービス	制作事業、スマホコンテンツ事業、テクノロジー開発事業
クライアントビジネス	クライアント（広告主）向け広告代理事業 など
インベストメント事業	DAC、ユナイテッドの投資事業

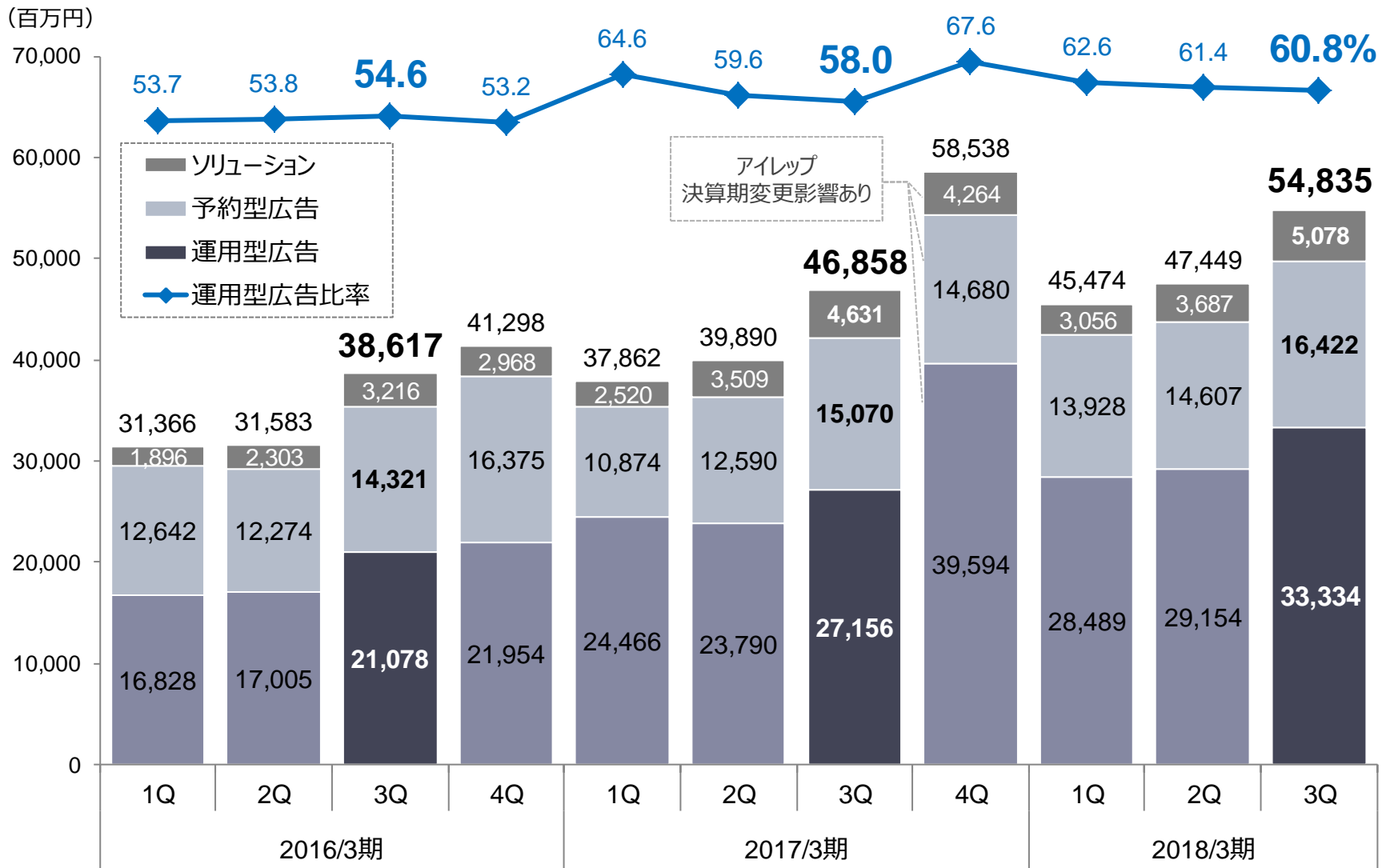
【補足】旧アイレップの取扱い額推移

- 新規顧客獲得などが奏功し、4-12月累計で前年同期間比120%で成長
- サーチ広告に加え、ソーシャルメディアなどのディスプレイ広告も引き続き拡大



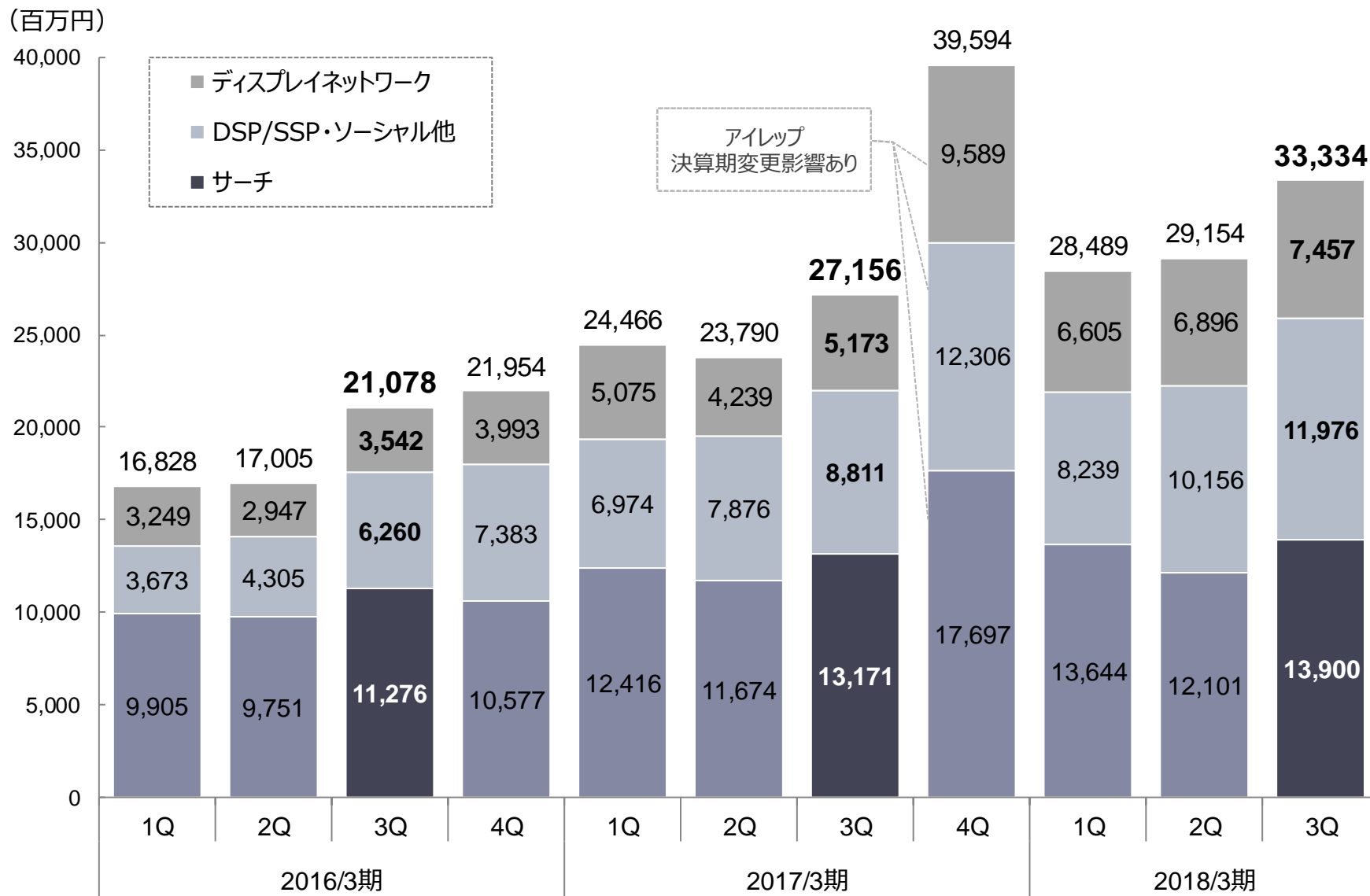


※ 2018年3月期より、売上高比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。



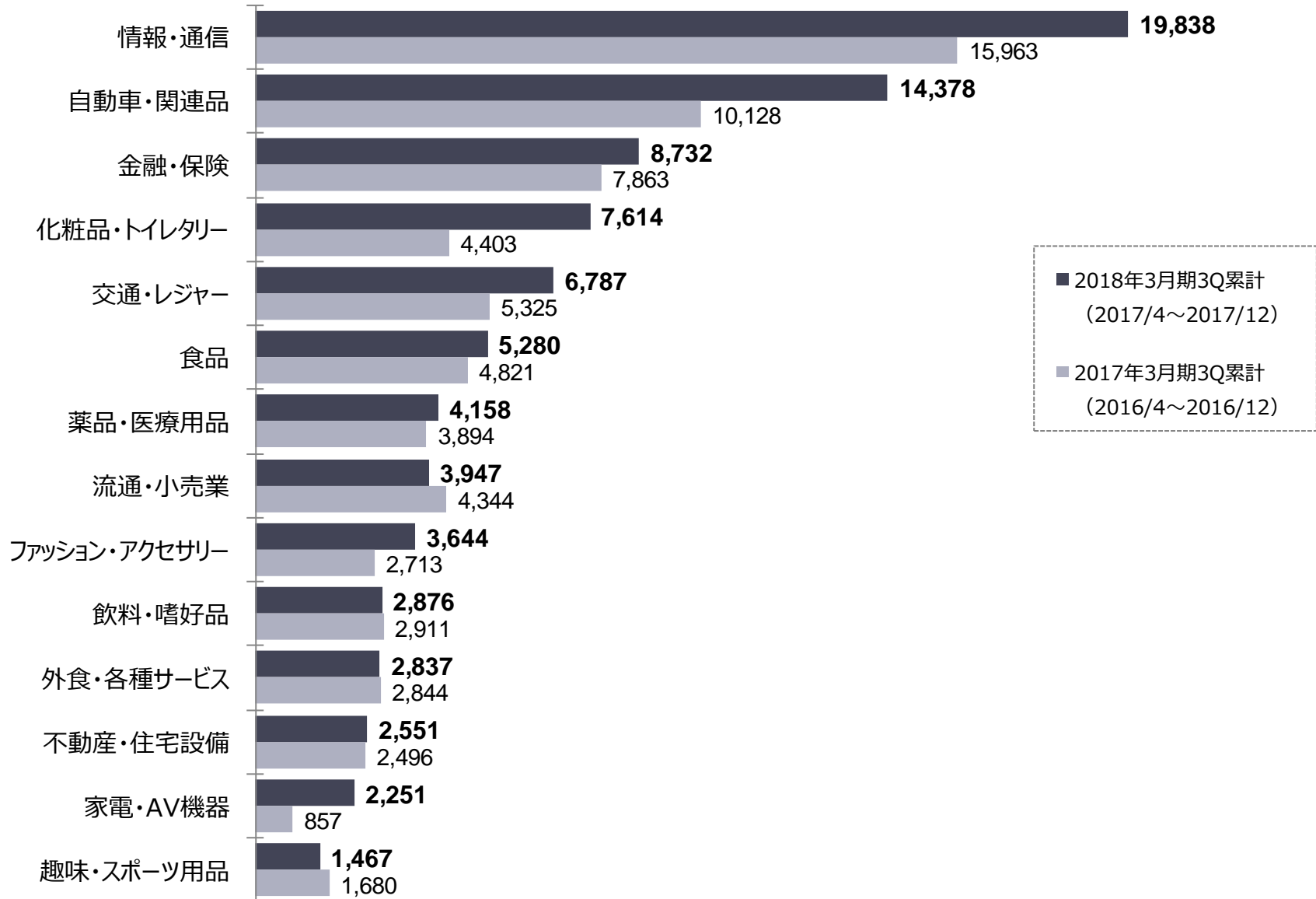
※ 2018年3月期より、運用型広告比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。

※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

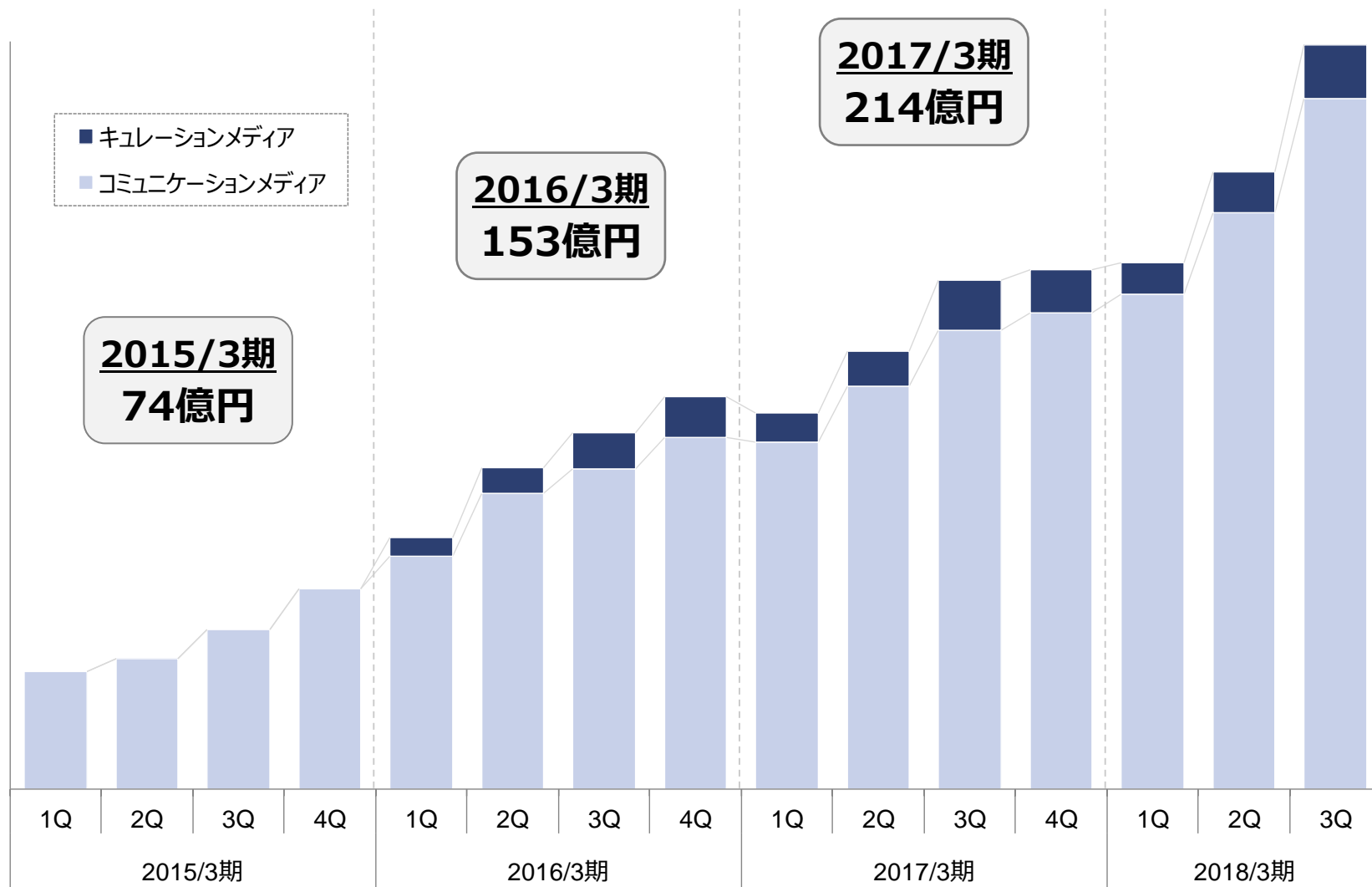


※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

(百万円)

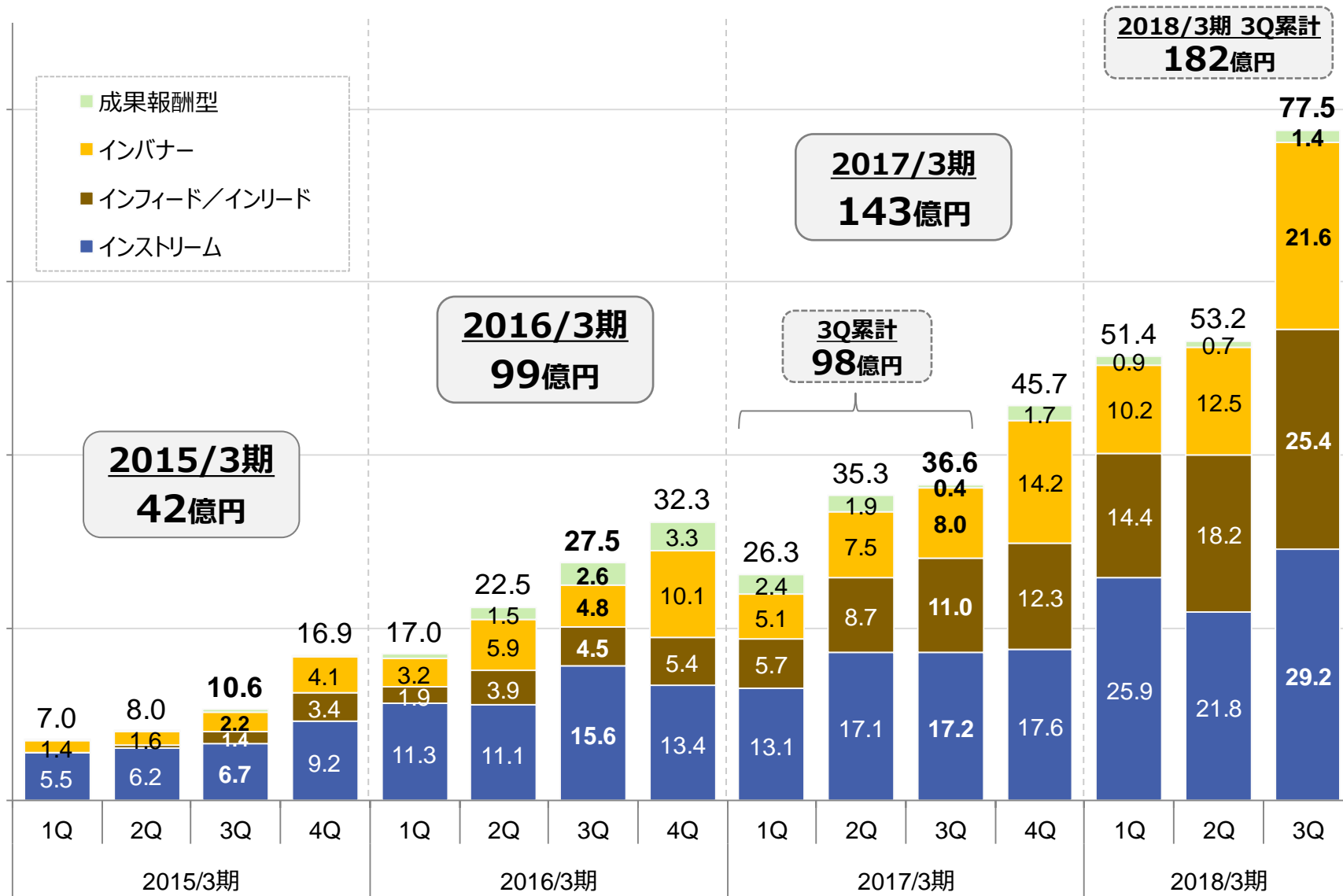


※ 2018年3月期より集計範囲および集計区分を変更し、2017年3月期実績は遡及して再集計しております。



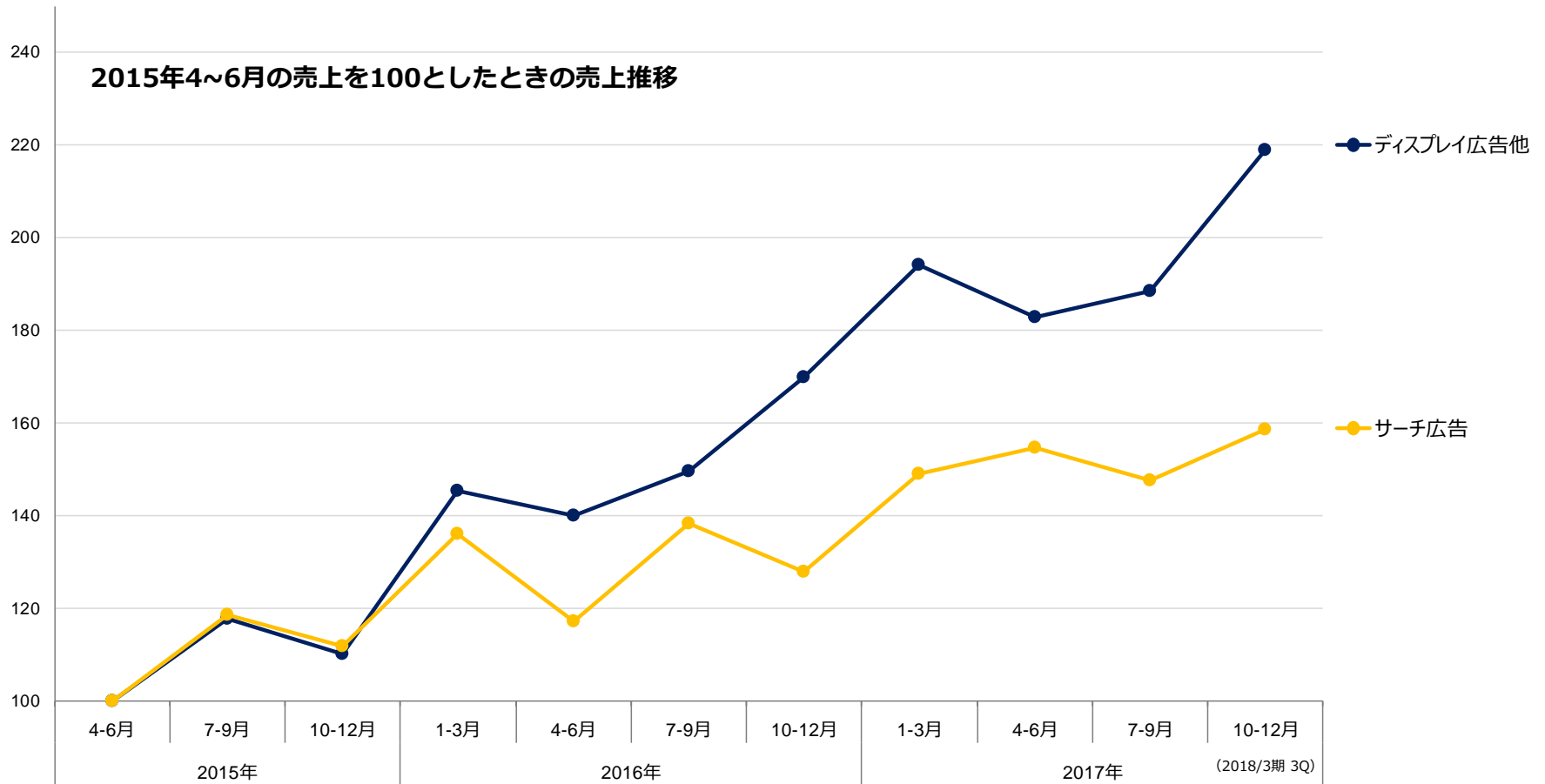
※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

(億円)

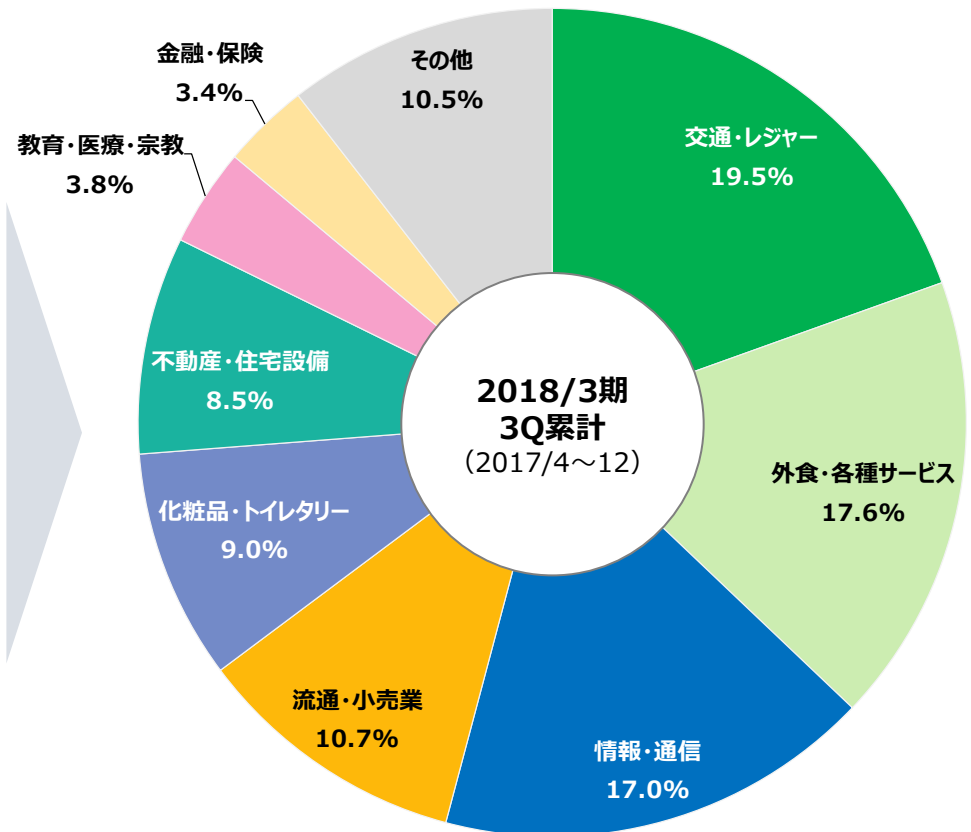
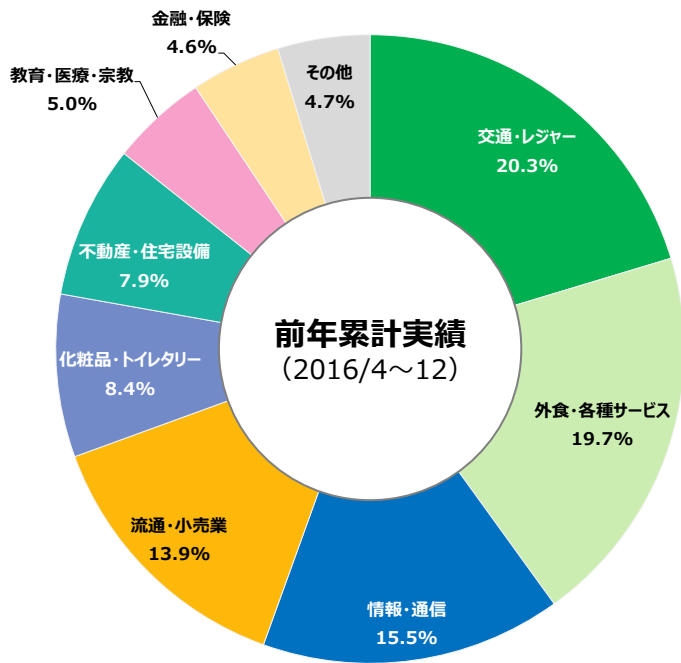


※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

- サーチ広告は安定的に伸ばしつつ、ディスプレイ広告が順調に拡大
- ソーシャルメディア・動画メディアなど、注力商材が特に伸長



- 前年同期と比較すると、情報・通信の構成比が拡大
- 交通・レジャー、情報・通信、人材サービス（外食・各種サービス）を中心に、特定業種への偏りが少ない顧客基盤



今期方針／トピックス

1 効率化によるシナジー効果

- ✓ 事務所の再構成やオフィス統合、システム代替による効率化の実現
- ✓ ニアショア・オフショアを活用したローコストオペレーションの徹底

2 既存領域の競争力強化

- ✓ 運用体制およびソリューションサービス体制の集約・最適化
- ✓ アイレップは、クライアント向き合いのエージェンシー事業に特化し、収益向上を狙う
- ✓ グローバルプラットフォームへの対応を強化し、サービス・プロダクトの充実による顧客対応力強化

3 成長分野への投資

- ✓ 優良データホルダーとの連携強化など、データ利活用の更なる促進
- ✓ コンテンツマーケティングに関する取り組みの推進
- ✓ グループ一体となったグローバル対応チームでのビジネス拡大

1 効率化によるシナジー効果

- ✓ 事務所の再構成やオフィス統合、システム代替による効率化の実現

3Q~

オフィス統合に向けて進行中

3Q~

RPAの活用およびシステム導入に向けた
基本戦略策定（2018年度中に開発予定）

- ✓ ニアショア・オフショアを活用したローコストオペレーションの徹底

1Q

ベトナムでエンジニアの計画的育成を推進し、
エンジニアリソースの安定的確保 & 開発体制を強化



D.A.C Tech Vietnam

3Q

新潟市に
クリエイティブ拠点を新設

P.29
で詳しく

- ニアショア拠点・オフショア拠点を活用し、売上拡大をサポート

種別	場所	拠点名	役割
ニアショア拠点	高知県	クオリティマネジメントセンター高知 (2014年7月)	運用型広告における 運用業務
		アイクリエイティブ 開発センター高知 (2016年6月)	クリエイティブを専門とした 企画・制作
	新潟県	アイクリエイティブ 開発センター新潟 (2018年1月)	
オフショア拠点	中国	長春アド・プロ (2012年9月)	広告進行管理・レポート作成、 管理業務受託など
	ベトナム	DAC Tech Vietnam (2016年9月)	テクノロジー開発



広告運用・クリエイティブ制作・テクノロジー開発において、
効率的な人員体制を実現

2 既存領域の競争力強化

- ✓ 運用体制およびソリューションサービス体制の集約・最適化

1Q

2017年4月にトレーディングデスク機能を集約し、国内最大規模の体制を構築

- ✓ アイレップは、クライアント向き合いのエージェンシー事業に特化し、収益向上を狙う

1Q

DAC・アイレップ間の事業再編を実施

4Q

(株)カラックを子会社化

P.31
で詳しく

- ✓ グローバルプラットフォームへの対応を強化し、サービス・プロダクトの充実による顧客対応力強化

3Q

Facebook Marketing Partnersにタイ・台湾で追加認定

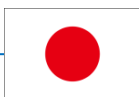
P.31
で詳しく

- DAC子会社のトーチライト、「Facebook Marketing Partners」アドテクノロジー部門において、タイ・台湾の2カ国で追加認定



Facebookに対する知見と実績基準を満たす企業を認定
認定された企業は、Facebook社推薦のもと、世界各国の企業とビジネス展開をすることが可能

Facebook・Twitter・Instagram広告に対応した
広告運用支援ツール



「消費財」「自動車」など、国内最多の8業種で認定
(2015年10月、2016年10月)



タイ



台湾



DACグループの各現地拠点と連携し、
現地の顧客向けにFacebook広告運用
サービスを推進

- アイレップ、株式会社カラックを子会社化

SEM領域で
国内ナンバーワン



成果報酬型を中心とした
運用型広告のノウハウを保有

株式会社カラック

代表：代表取締役 執行役員社長 末澤 慶輝
本社：東京都港区
設立：2005年7月
事業：広告代理事業、コンサルティング事業、
ソリューション事業、メディア事業

➡ デジタルマーケティング事業における競争力強化とサービス拡充を推進

3 成長分野への投資

- ✓ 優良データホルダーとの連携強化など、データ利活用の更なる促進

2Q データホルダーとデータ連携
・ (株)ランドスケイプ | 企業データベース
・ エヴィクサー(株) | 音声処理技術

3Q AudienceOne Discovery
の提供開始

P.33
で詳しく

- ✓ コンテンツマーケティングに関する取り組みの推進

1Q 朝日新聞社・集英社と
TJ BRAND STUDIO開始

2Q (株)TABI LABOと資本業務提携

3Q コンテンツマーケティング支援の
プロジェクトチーム
SHAKERの結成

P.34
で詳しく

- ✓ グループ一体となったグローバル対応チームでのビジネス拡大

3Q

I-DAC(BANGKOK)設立



- DACの「AudienceOne®」の保有データを企業データベース等へ提供する「AudienceOne Discovery」を開始



国内最大級のデータを保有するDMP

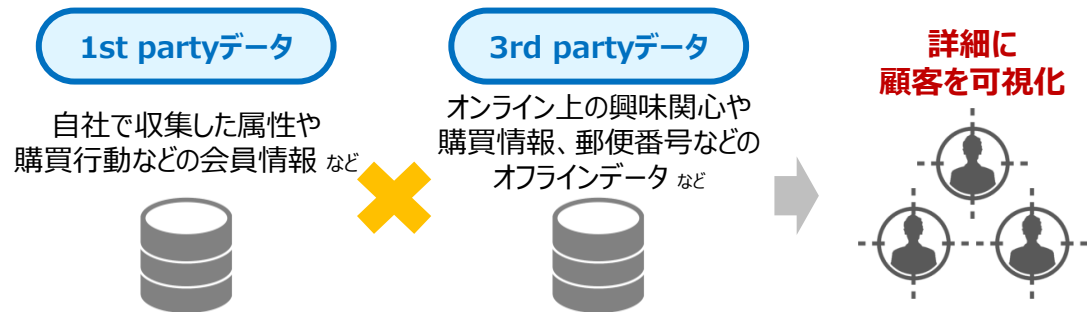
4.8億ユニークブラウザー・
9,000万のモバイル広告ID・
1兆レコードの膨大なデータを解析

ビジネスモデル 1 広告配信におけるデータ活用

質の高い豊富なデータを柔軟にカスタマイズすることで多種多様なセグメントを生成し、広告配信に活用

ビジネスモデル 2 データ提供 New!

AudienceOne®が保有する3rd partyデータを
クライアントの1st partyデータに紐づけたカスタマイズデータを提供



for 広告会社・広告主 → 顧客の可視化による **マーケティング活動の最適化**

for 媒体社 → サイト閲覧者の把握による **マネタイズ最大化支援**

- DACと博報堂アイ・スタジオでプロジェクトチーム **#SHAKER** (シェイカー) を結成し、企業のコンテンツマーケティングを支援

分析・企画

制作・拡散

検証

メディアと連携した
コンテンツ開発コンテンツ拡散
話題化施策データを活用した
PDCA運用

DACグループの知見を活かし、コンテンツ企画から効果検証までトータルでプロデュース



- メディアの編集力を活かした質の高いコンテンツを企画・開発し、ソーシャル、DSPを使ってターゲットに届けるプランニング
- AudienceOne®のデータを活用した計測・レポート

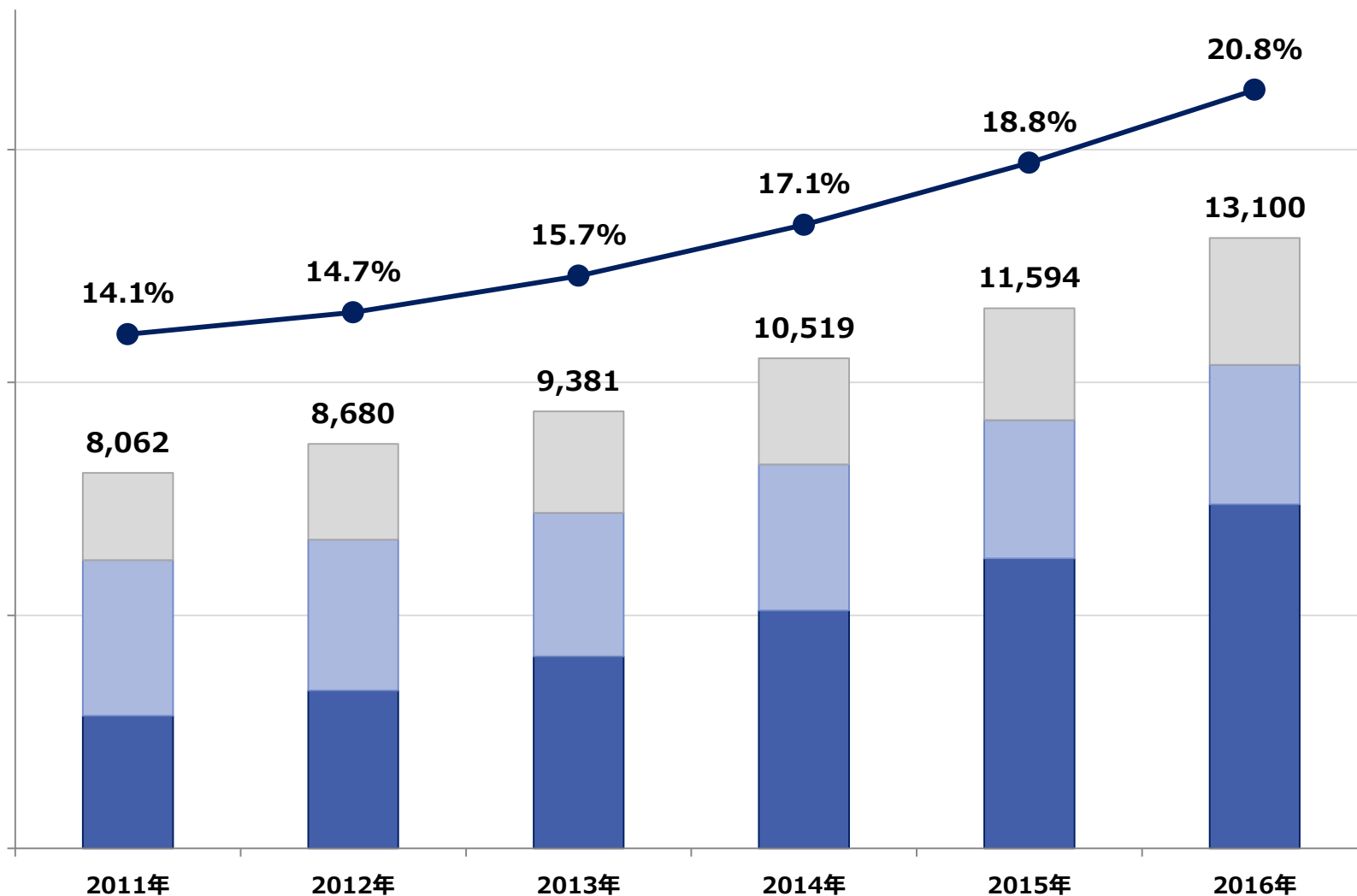


- 動画を含むクリエイティブ制作、データ分析などの総合プロデュース
- 統合マーケティング視点での制作支援

ご参考

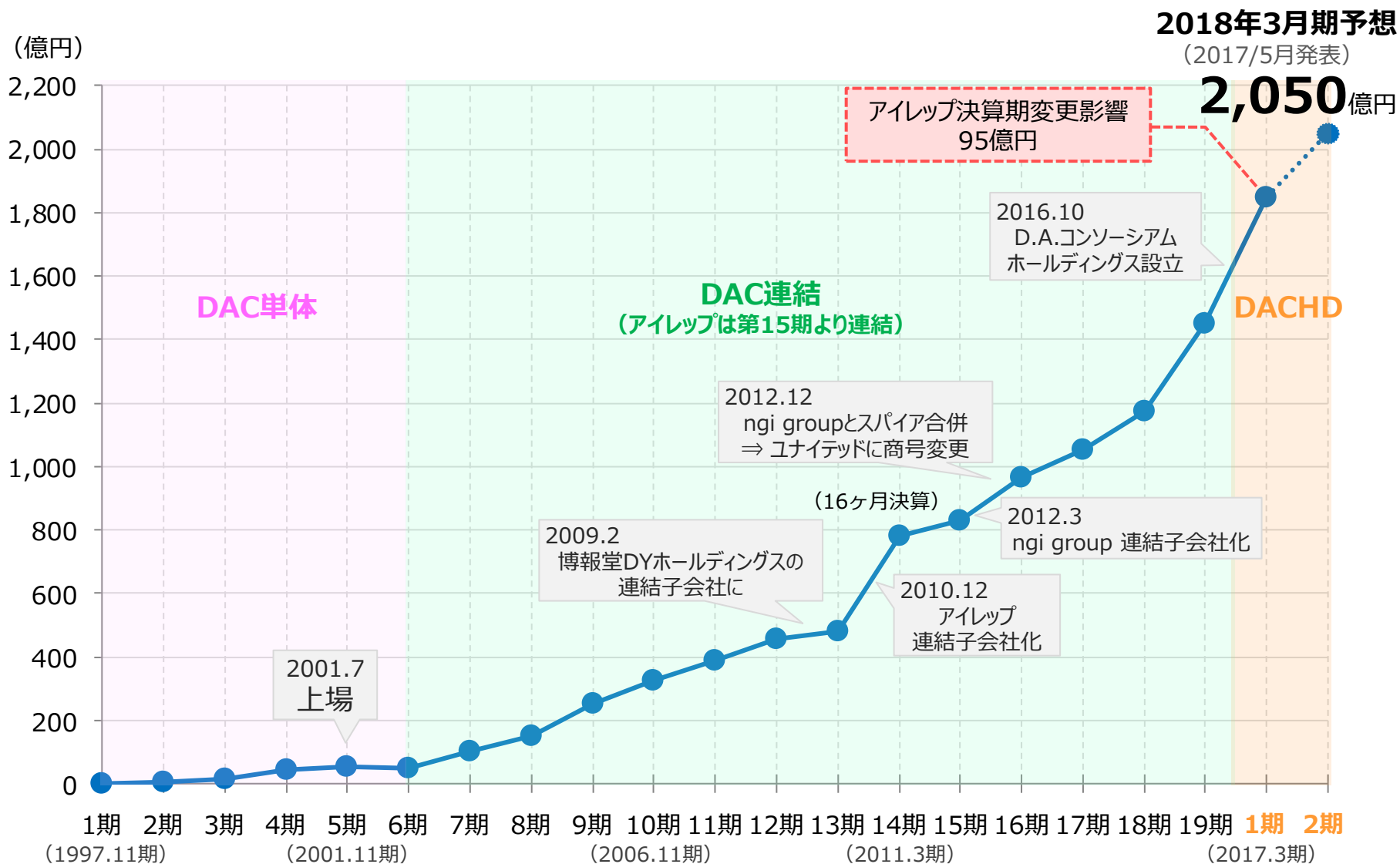
インターネット広告市場の推移

■ 運用型広告 ■ 予約型広告 ■ 制作費 ● 総広告費に占めるインターネット広告費の割合

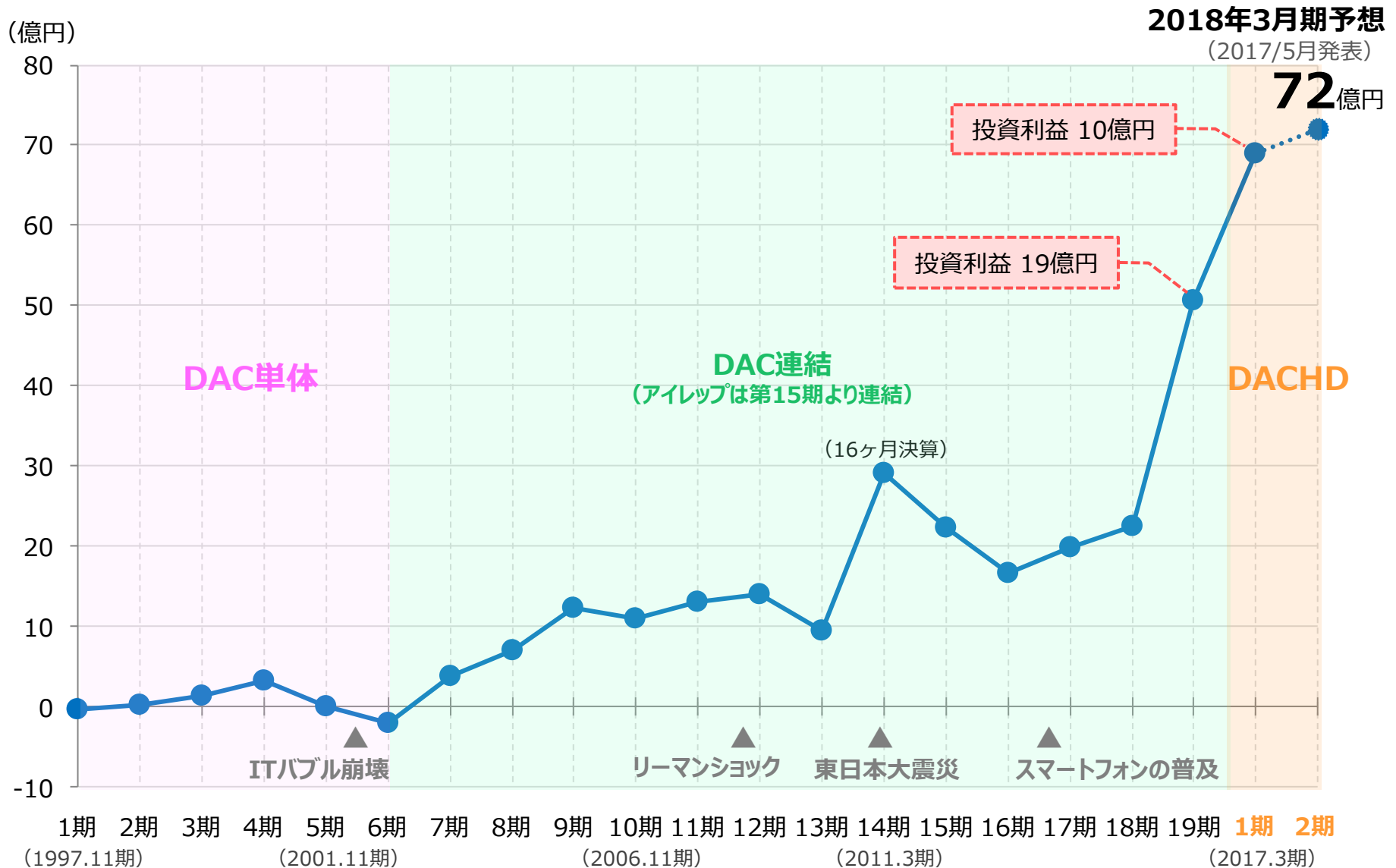


出典：(株)電通 日本の広告費

DAC設立時からの売上推移



DAC設立時からの営業利益推移



D.A.コンソーシアムホールディングス会社概要

商号	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 英文社名：D.A.Consortium Holdings Inc.
設立	2016年10月3日
資本金	4,000百万円
所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
上場市場	東京証券取引所第二部（証券コード：6534）
発行済株式総数	71,481,422株
役職員数	2,896名（連結）
事業内容	インターネット広告ビジネスを運営する子会社等の経営管理およびこれらに附帯又は関連する一切の事業

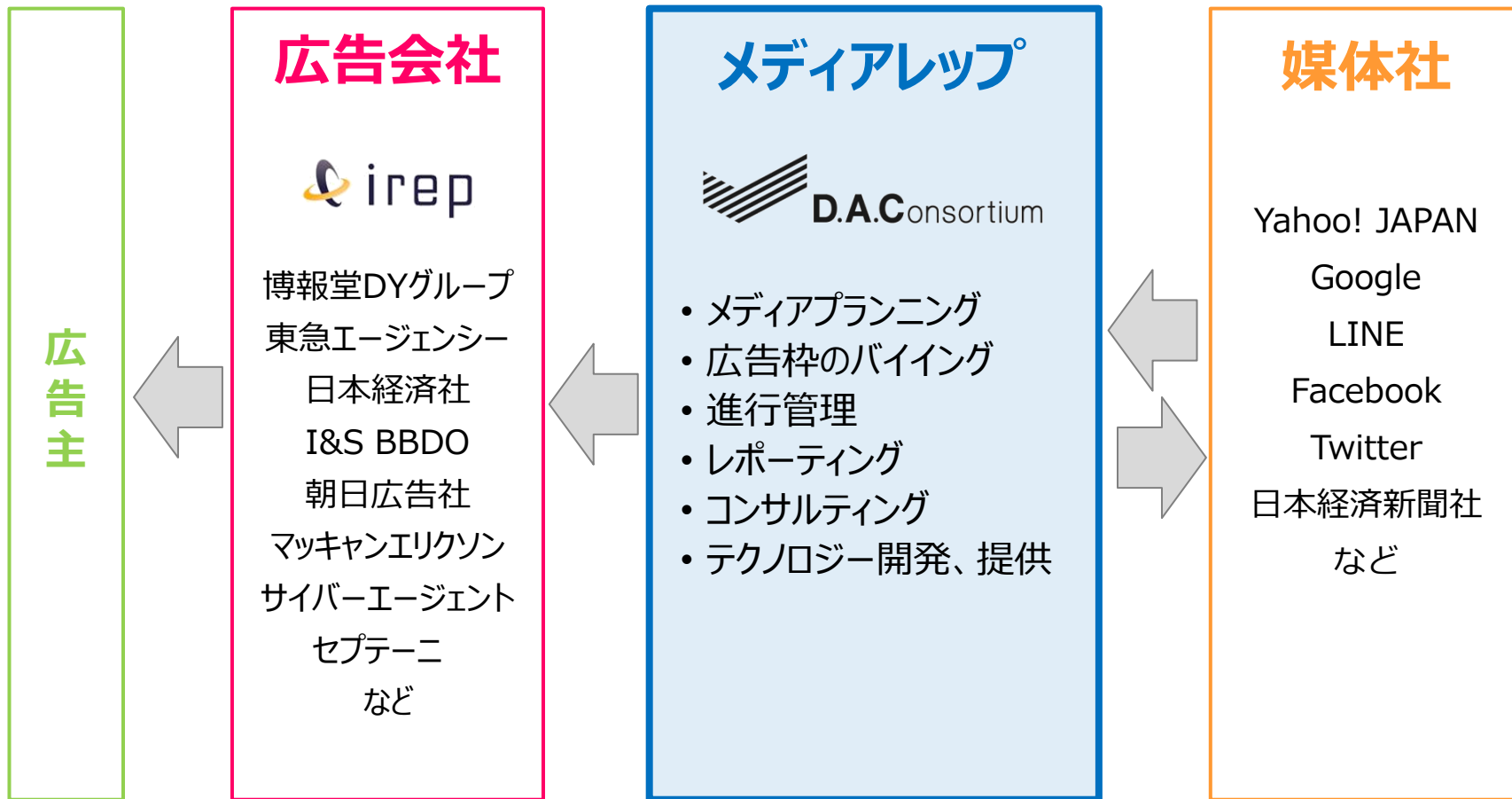
DACグループ | 主要連結子会社

社名	議決権比率 (間接保有含む)	事業内容
 UNITED ユナイテッド(株) <small>東証マザーズ</small>	44.4%	アドテクノロジー事業、スマホコンテンツ事業、ベンチャーキャピタル事業
 HAKUHODO i-studio (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における企画制作、システム開発、CRM事業
 PLATFORM ONE (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 (株)アド・プロ	65.8%	広告取引におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務の提供
 TORCHLIGHT (株)トーチャイト	70.0%	オウンドメディアと広告を中心としたソーシャルメディア活用支援サービスの提供
 D.A.C Beijing 北京迪愛慈广告有限公司	51.1%	中国におけるインターネット広告事業
 D.A.C Consortium Taiwan 台湾迪愛思股份有限公司	100.0%	台湾におけるインターネット広告事業
 D.A.C Asia DAC ASIA PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 i-dac I-DAC PTE. LTD.	85.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供
 D.A.C Tech Vietnam DAC Tech Vietnam	68.3%	デジタルマーケティング領域における高い開発技術を用いたソフトウェア開発
 yengage Yengage Corporation	100.0%	米国におけるインターネット広告事業

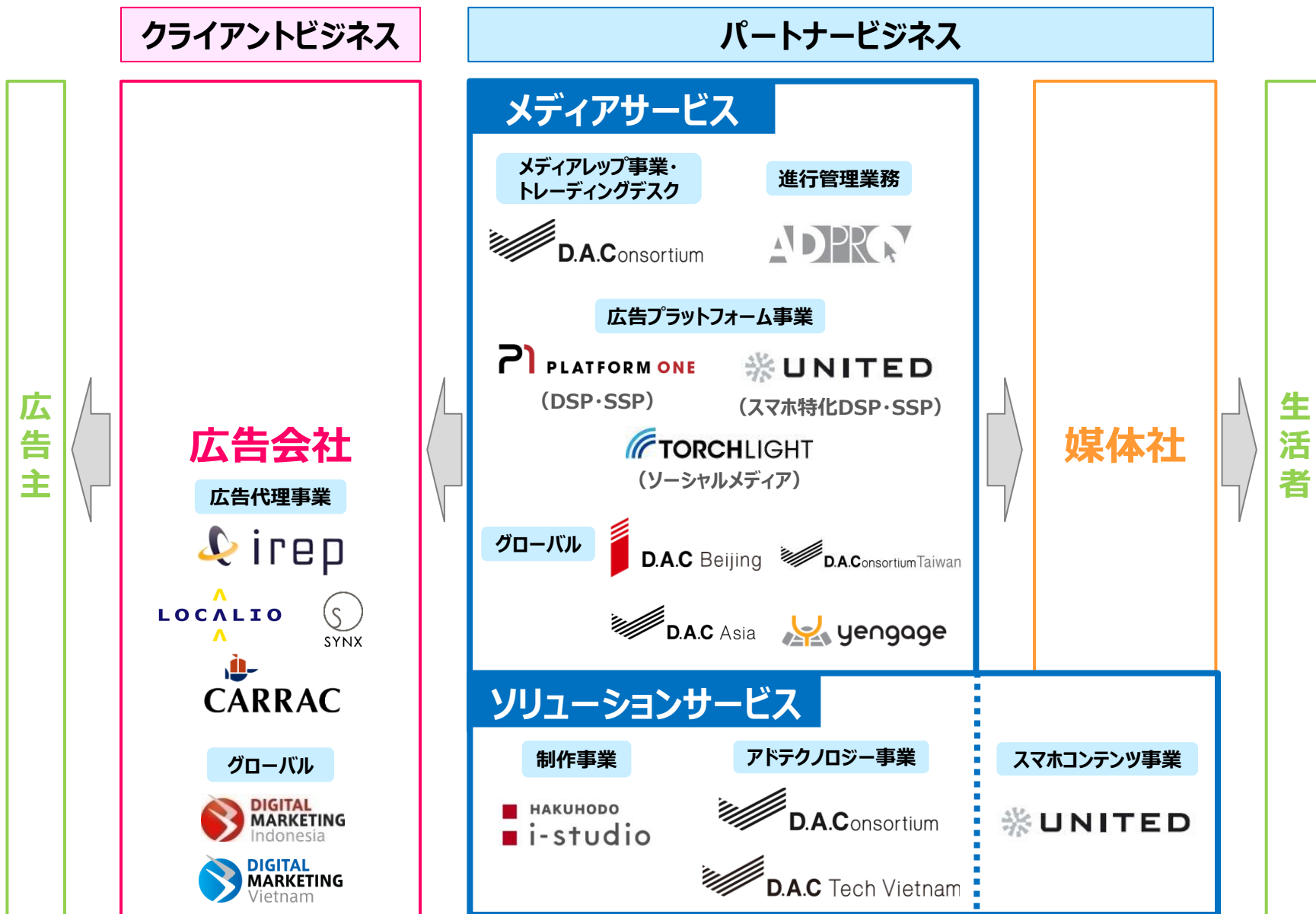
アイレップグループ | 主要連結子会社

社名		議決権 比率 (間接保有含む)	事業内容
 LOCALIO	(株)ロカリオ	100.0%	中堅・中小及び地方企業向けデジタルマーケティングサービス
 SYNX	(株)シンクス	51.0%	運用型広告事業
 NEWSY	(株)NEWSY	91.2%	ニュース配信サイト「しらべえ」運営事業
 CARRAC	(株)カラック (2017年1月 子会社化)	100.0%	広告代理事業・コンサルティング事業・ソリューション事業・メディア事業
 DIGITAL MARKETING Indonesia	PT.DIGITAL MARKETING INDONESIA	85.0%	インドネシアにおける運用型広告事業
 DIGITAL MARKETING Vietnam	DIGITAL MARKETING VIET NAM CORPORATION	53.2%	ベトナムにおける運用型広告事業
 irep IREP BEIJING CO.,LTD	北京艾睿普广告有限公司	100.0%	中国における運用型広告事業

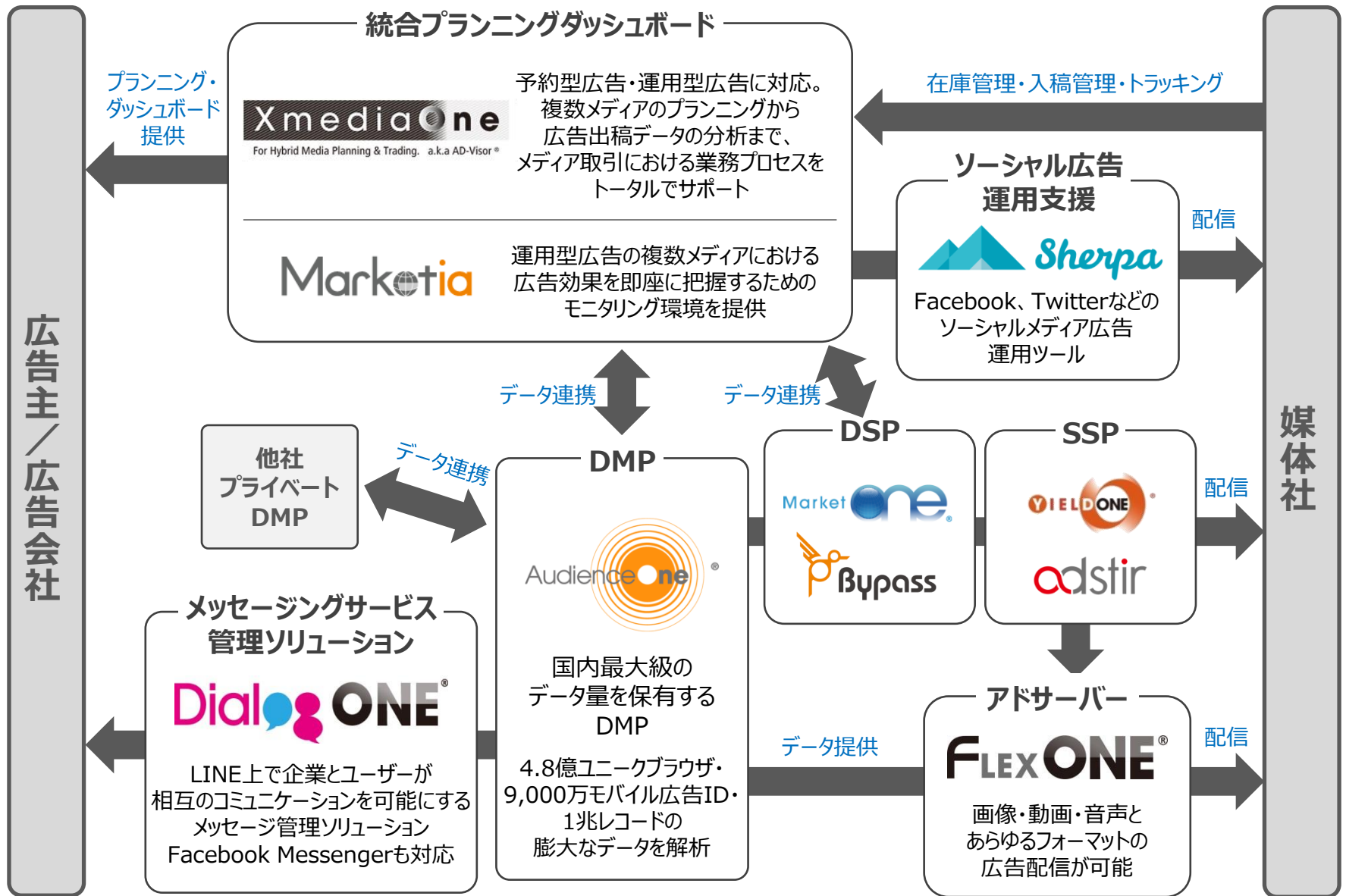
インターネット広告の流れ



インターネット関連広告事業のビジネスマップ



DACHDグループの主なアドテクノロジーラインナップ



本資料のご利用にあたって

本資料は、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社の事業及び業界動向についてのD.A.コンソーシアムホールディングス株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2018年2月2日現在において利用可能な情報に基づいて、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社により2018年2月2日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業に関する詳細の数値につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。